

みちくさマップ

米内沢地区・本城

指定文化財

未指定文化財

鈴子の木

お坊さんが即身成仏したと言い伝えの残る所謂供養の得木の地。慶長7年(1602)米内沢一揆が起った際、一揆の輩は多く敗れ6人の首が刎ねられ、山崎において猪犬門に掛けられたという。その6人とさらに4人の遺体は木蓮の大木の下に埋葬されたとされる。

江戸時代になり、あるお坊さんが彼らの魂を鎮める為に即身成仏に入った。その時鈴の音を鳴らしながら生きた状態で埋葬に入ったと言われることから、この名がついたと思われる。

判官様古戦場跡

三戸南部氏の軍勢が侵略してきた際、米内沢城主嘉成右馬頭常陸入道康清の嫡子、右馬頭重盛の家臣の奈良岡惣五郎が萱森判官を相手に戦ったとされる所。

当時、若武者と言われた萱森判官を相手に首を勝ち取った。当時の南部氏の勢いからして前代未聞の大勝利であった。

両側1700mにわたって93基が立ち並び、長さのトンネル

松栄桜並木

北秋田市指定無形文化財

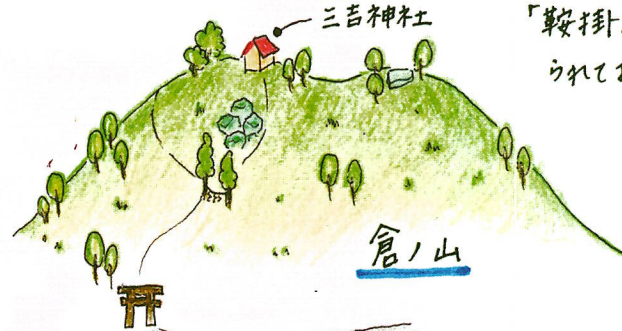
昭和12年大野台集団開墾事業として92戸が入植した。当時は木の巨木が立ち並んでいたが、その木公並木は戦時中に軍用材として伐採された。

昭和27年入植者2世の若者達が青年会を組織し、松並木に代わるもの、又住民のバのヨリ戸にしようとしてソメイヨシノの苗木を植栽した。その後8年間にわたり177本もの苗木を植栽した。

倉ノ山

標高は314.5mあり、米内沢地区で一番高い山です。

山名の由来は定かではありませんが、天明5年(1785)に糸川行家管江真澄が米内沢を經由した際、石坂方面からこの高い山を見て案内人に「あの山は何という山ですか?」と聞いたところ「鞍掛山(くらかけやま)と呼ばれている」と言っていたと伝えられており、そこから付いた名ではないかと思われます。



一伝統行事「サギサギ」

毎年8月15日、紙で作った高さ3m程の梵天を持ち、相撲取りの振束で化粧まわしを着けた

サギサギ
サギサギ
サギサギ



男達が町内を練り歩きます。その後三吉神社まで登り、豊作や無病無災を祈願し山頂で奉納相撲を行う。

古館

現在は井戸跡が残るのみです。



木蓮の木の下にはお墓があります。

鈴子の木

標柱あり。墓地の陰に石塔があります。

公立米内沢病院

熊野神社

森吉公民館

米内沢神社

龍淵寺

本屋敷

浄福寺

金家住宅

御役屋跡

船着場跡

森吉交番

阿仁川

合川

米内沢駅

米内沢地区

米内沢地区

米内沢地区

米内沢地区

米内沢地区

米内沢地区

米内沢地区

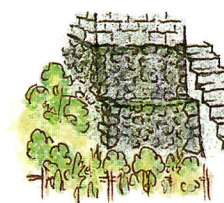
米内沢地区

米内沢地区

萬霊供養塔

天保4年(1833)奥羽地方が大不作の年で大飢饉に襲われた。この米内沢地区も極度の食料不足となり、翌年には疫病が大流行し、白人を超える死者が出たと記録されています。

秋田藩では人々の心を鎮めようと、天保7年(1836)この地に霊供養の石塔を建てた。石塔の筆者は、秋田藩士の漢学者であった奥山翼です。



船着場跡

阿仁川と米代川とが合流する地点にあった下田平舟場から米内沢まで「阿仁舟」「ジアイ舟」と呼ばれる舟が運航されていた。

米内沢の舟場は、下田平舟場よりの終点で、荷は全て米内沢でいったん降りられ、上流の阿仁合へは小舟に積み替え約半日かけて運送されていた。

現在は下町と呼ばれ、月日回りの付く日に市が開かれ賑わっている。

米内沢城跡

城主は嘉成常陸介資清である。

築城時期は明らかでないが、明和3年(1766)の神社調べに『大永2年(1522)4月8日神社を寄進』とあることから、この当時すでに活躍していることが推察されます。

江戸時代の一国三城令により、米内沢城も破却された。現在は火田となっているが、米内沢城跡をへだて(古館)城下は下屋敷と呼ばれている。

親杉

北秋田市指定天然記念物

神社の境内にある親杉は、樹齢500年、高さ40m、根本直径2.5mの杉の巨木です。

昔は杉の下に小さな祠があったが、火災にあつたため明治13年に今の社殿が建立された。社殿を建てる時、地均しのために杉の根本が数mも埋まったと言われており、根本の直径は3mにも達するものと思われる。



所有者が居住しております。
＝問い合わせ＝
北秋田市教育委員会
生涯学習課
TEL 0186-62-6618

金家住宅

国指定重要文化財(建造物) H20.12.2 指定

建築年一 洋館(T14)和館(S3)文庫蔵(M35)米蔵(T2)表門(S3)

金家住宅は、阿仁地方の三大旦那と呼ばれた大地主の邸宅で、東北地方で数少ない大型の和洋並立住宅として貴重な建造物です。洋館は、印象的な急勾配の大屋根に切妻破風と屋根窓を付け、1階を下見板張、2階をドイツ壁、妻壁をハーフティンバーとする。和館は、上下階で洋館と繋っているが、独立した玄関をもち、洋館とは対照的なムクリをつけたゆたうとした入母屋造の屋根となっている。良質な秋田杉を用い、八間通し(約15m)の深さ、「金」の字を模した木間窓の透彫などがある。

御役屋跡

寛文11年(1671)代官制を廃し、初めて郡奉行を置いて村々の肝煎を監督させた。北秋田郡には大館と米内沢に置かれ、米内沢の奉行所は早口以西鷹巣、阿仁郡を支配した。のちに代官制が復活、代官の人数を増やした。その後代官は郡方吟味役として郡奉行の下に置かれ、米内沢奉行所(御役屋)には4.5名がいた。御役屋は明治に入るまで維持された。

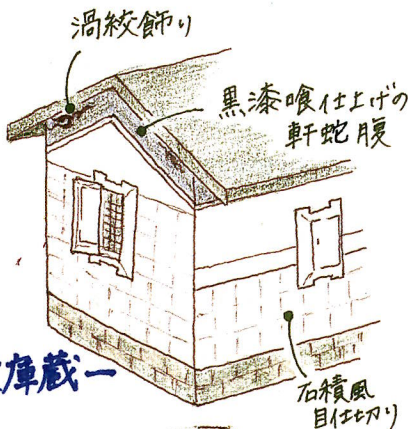
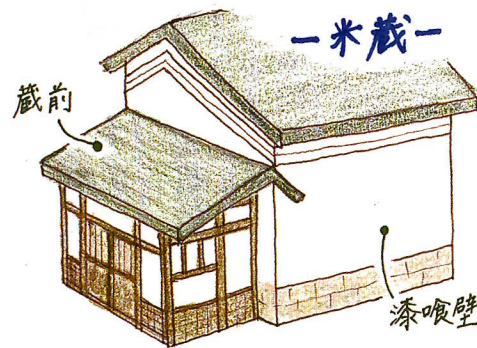
図解 金家住宅



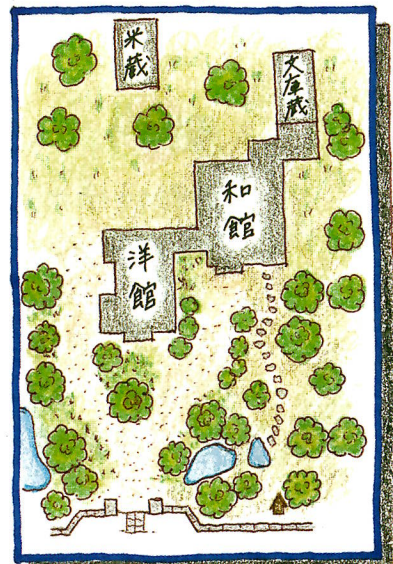
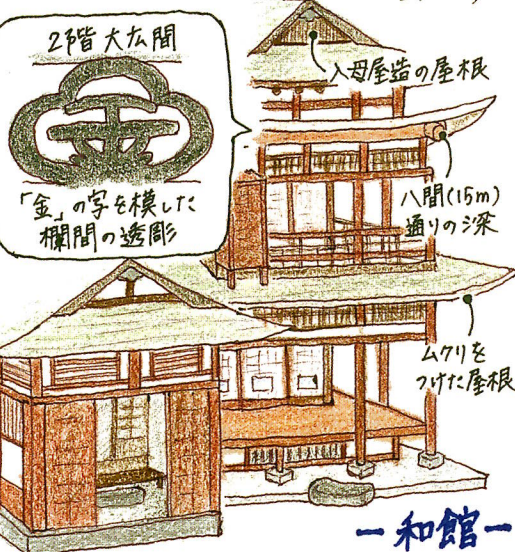
—表門—

石積み門柱

＝お問い合わせ＝
北秋田市教育委員会
生涯学習課
TEL 0186(62)6618



—文庫蔵—



所有者が居住しておりますので、敷地内への立ち入りはご遠慮下さい。

—おもな 年中行事—

5がっ 8日 米内沢神社祭り

8がっ 13日 米内沢獅子踊り

当流流棒術(本城)

15日 サギサギ(山神様)

24日 菅原神社ヤマヤマ(轟山)

29日 熊野神社餅つき踊り
(めうれ踊り)

平成22年5月現在

浜辺の歌音楽館

インフォメーション



開館時間 午前10時～午後5時

休館日 月曜日・第3日曜日・年末年始

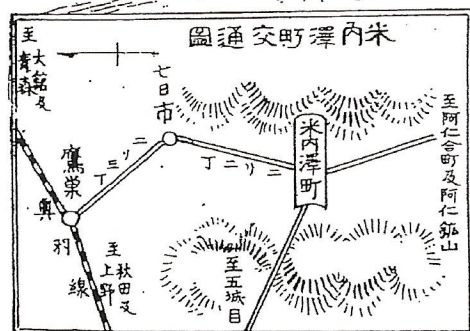
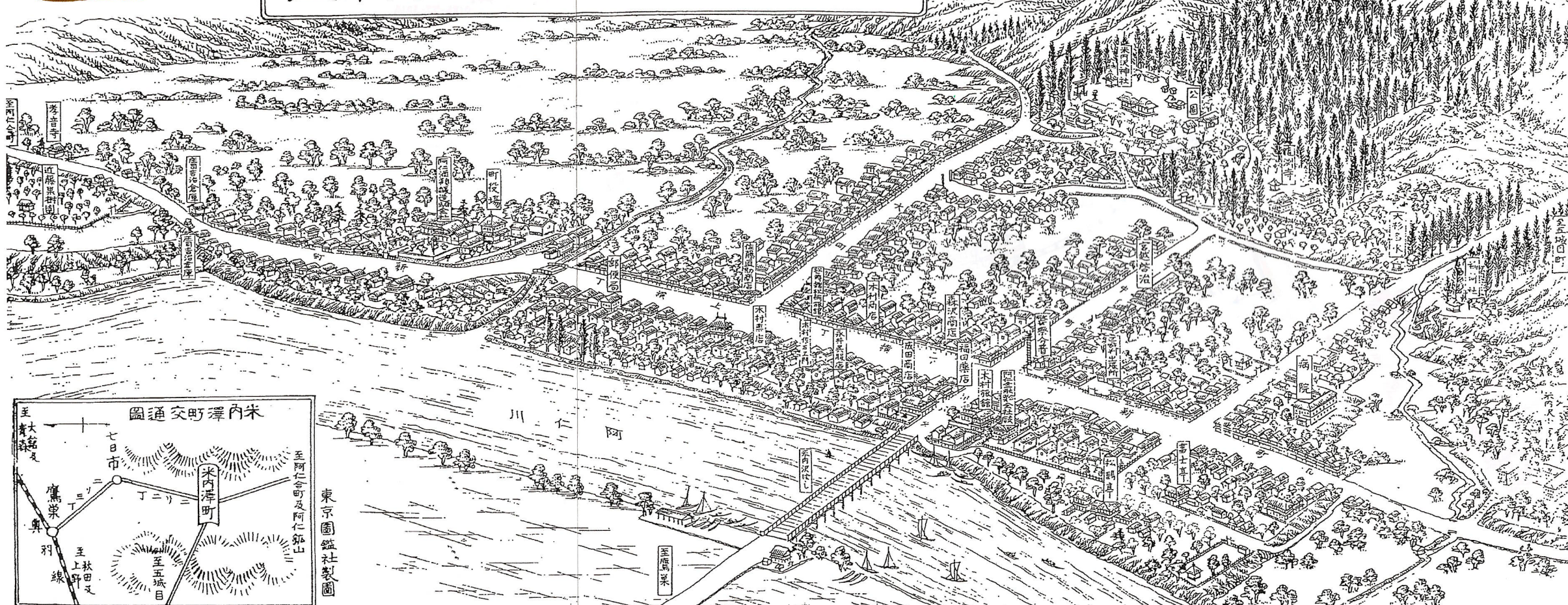
TEL 0186(172)3014



為三さんそっくりのロボットが
ピアノを演奏してくれますよ♪

大正6年発行の絵図

図景真町澤内米郡田秋北縣田秋

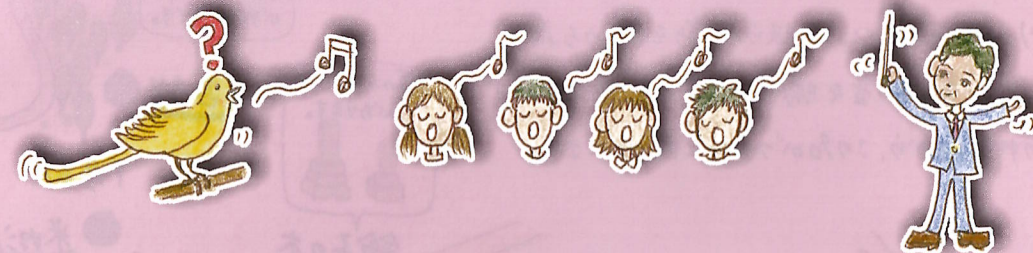


東京図鑑社製図

北秋田市

米内沢地区・本城

みちくさマップ



北秋田市教育委員会